

＜共育塾17期生が入塾中＞

2024年度・共育塾ネットワーク交流会

メンターからのメッセージ

今からの“共育塾NWのありたい姿”を目指して

2024年11月19日

オフィスチェイカス 代表 横山耕二

中小企業診断士、共育塾メンター(創始者)

新生”共育塾”に向けて 次世代へのバトンタッチ開始

【共育塾創設への協力者】

星崎治男氏、平田耕也氏
竹内利明氏、重光克明氏
山本博一氏、山下康明氏



3代目
平井副塾頭



【新生・共育塾への協力者】

平田雄一郎氏、村上尊宣氏
重光克明氏、市原幸夫氏



2代目
奈須塾頭



創始者
横山メンター



共育塾の原点：人は無限の可能性を秘めている！

次世代を担う自立人材が育つ「相互研鑽の場」を熊本に創りたい！

- * 「人は育てる」のではなく、「人はみな、無限の可能性を秘めており、刺激や気づきを得ることで、自ら育つ」のであり、そのためには「自ら育つための場＝相互研鑽の場」が必要であると 考えている。
- * 自立人材とは、「自分の頭で考え、自分で解釈を深め、自分の言葉で話せる人」、「ないものを創れる人 ⇒チャレンジャー」である。
- * やりがいは、「自己向上心(よくなりたい心)と、社会貢献意欲(よくしたい心)」から生じて、「刺激と気づき」で育まれていく。
- * 社会人教育は「互いに教え・学び合う人」で成り立っており、「実践力を身につける場」である。一方で、学生教育は「教える人と学ぶ人」で成り立っており、「基礎力を身につける場」である。
- * 少数精鋭とは、「精鋭を少数集める」のではなく、「少数集めることで全員が精鋭を目指す」ことであり、そのような場づくりをする。
- * 熊本から九州・日本・世界に発信する気概を持った人材づくりを！
< 自社取り込み力の向上と、本音で話せる異業種ネットワークづくり >

共育塾で大切にしている言葉

生成AI革命が普及浸透していく時代に大切なこと！

自分の頭で考え

自分で理解を深め

自分の言葉で話す

塾生の1年後に期待すること！

1年間の変化を自己評価する際の評価項目:キックオフシートに記載

★最も身につけて欲しいこと

- * ネットワークが広がった(熊本→九州→日本→世界)
- * 自分自身や自社のアピール力が高まった(パワーポイントの活用も含む)
- * メールをうまく活用できるようになった(「面談+メール+電話」による仕事の質・量の向上)
- * 他社の事例を自社に取り込む力が向上した
- * 視野が広がった

★実用知識の習得

- * 資金調達のやり方が少し分かり、自社への応用知識が増えた
- * 行政活用のやり方が少し分かり、自社への応用知識が増えた
- * 管理会計の重要性が認識でき、自社への応用知識が増えた
- * マーケティングの重要性が認識でき、自社への応用知識が増えた
- * いろんな考え方や、価値観を持った人がいることが分かった

★心構えの基礎づくり

- * 自分で考えて企画・計画する力が付いた(ブラッシュアップの効用力の実感)
- * 今までよりも「すぐやる習慣」が身についた
- * 今まで経験のないことへのチャレンジする力がついた
- * 自立心が高まった(自己選択・自己決断・自己責任)
- * 「会社で発生する問題は、自分が解決すべき問題」との認識が高まった
- * やりがいは「自己の向上心と社会貢献意識」の両面で成り立っていることを認識した

経営者に育つ「共育塾」の紹介

「相互研鑽の場」+「常時交流の場」+「外部刺激の場」+「訪問実感の場」=「共育システム」

定期共育塾

月1回／全員参加(原則) : 3時間+α
(講義、質疑応答、意見交換、自社取込検討)

★自由発想の場、自己研鑽の場

- ①事例から学び自社への適用を検討
事例研究と自社への応用を検討
- ②実践的な資金調達、行政活用等を学ぶ
資金調達、マーケティング
パテント知識、行政施策活用など
- ③発言力、プレゼンテーション力の向上
繰返し全員実践の相乗効果で体得。

＜対象受講者＞

人生や経営の総合力向上
に意欲を持った、志のある
若手後継者、経営者

- ◆参加者数：8人MAX
- ◆受講期間：10ヶ月
- ◆参加費用：年額20万円
(参加・不参加関係なく費用負担)
- ◆定期会合日時(原則)
第2土曜日(9:00～12:00)
12:00～：講師との会食懇談
- ◆場所：SOCKET会議室

＜主宰＞

ナスドリームズ
塾頭 奈須悦雄
(株)M-Cass
副塾頭 平井孝道
オフィスエイカス
メンター 横山耕二

＜協力＞

◆九州志士の会熊本支部◆
支部長：上村隆、副：福永隆文
横山耕二、奈須悦雄、平木邦昭
坂本純夫、並川恭子、平井孝道
坂田義照、千葉透 ほか

- * 相互企業訪問(入塾から早期に実施)
- * 塾生交流(年1回以上,OB・OG交流)

SNSグループリスト

常時活用、全員参加、情報提供

★少数による情報共有化

- ①相互理解の推進
- ②知識交換、意見交換
- ③自ら発信の体得

※事例研究と行政活用を学び
視野を広げ、「気付き」による
意識改革を自らが行う。

※人脈の拡大と、異業種ネット
ワークづくりを行い、自社の
改善・活性化につなげる。

※発言力、自己アピール力、
プレゼンテーション力の向上
を自らが実践・体得する。

会社訪問見学&トップ懇談

都度開催：3ヶ月に1回
経営トップとの懇談と現場見学の貴重な機会

★違った世界からの刺激と気付き

- ①視野を広げる(脱熊本思考)
- ②第三者の目を持つ(自己客観視力)
- ③人脈の拡大(新たな地域・分野)

少数精鋭・共育塾の1年間(現在進化中)

「相互研鑽の場」+「常時交流の場」+「外部刺激の場」+「訪問実感の場」=「共育システム」
定期塾 ▶ プラス・ワン(見識育成テーマ) + 自社取り込み発表 + 経営基礎講義 + 会食懇談



＜キックオフミーティング＞



＜定期塾(月1回)＞
19期生からZoom反転学習導入



＜工場見学&トップ懇談＞
17期生から
* 平田機工・平田社長
* 重光産業・重光社長
* エコファクトリー・村上会長
* パストラル・市原社長



＜同期生交流懇談会＞



＜企業相互訪問＞

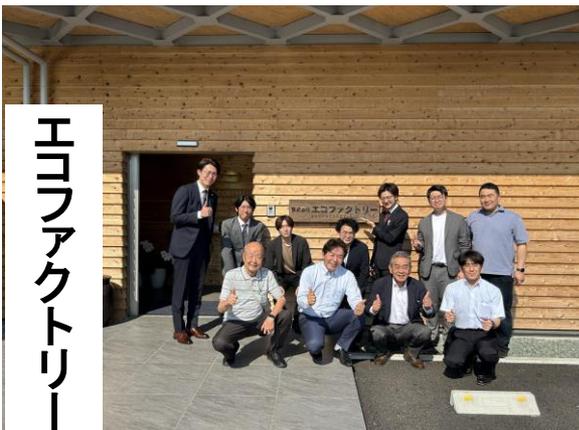
＜メールリングリストの運用＞
18期生から「みんなホーム」運用

⇒そして修了式！
「相互研鑽の場」の確立



平田社長に工場見学依頼(2023,12)

平田機工・工場見学&トップと懇談(2023,7)



エコファクトリー・工場見学・6月

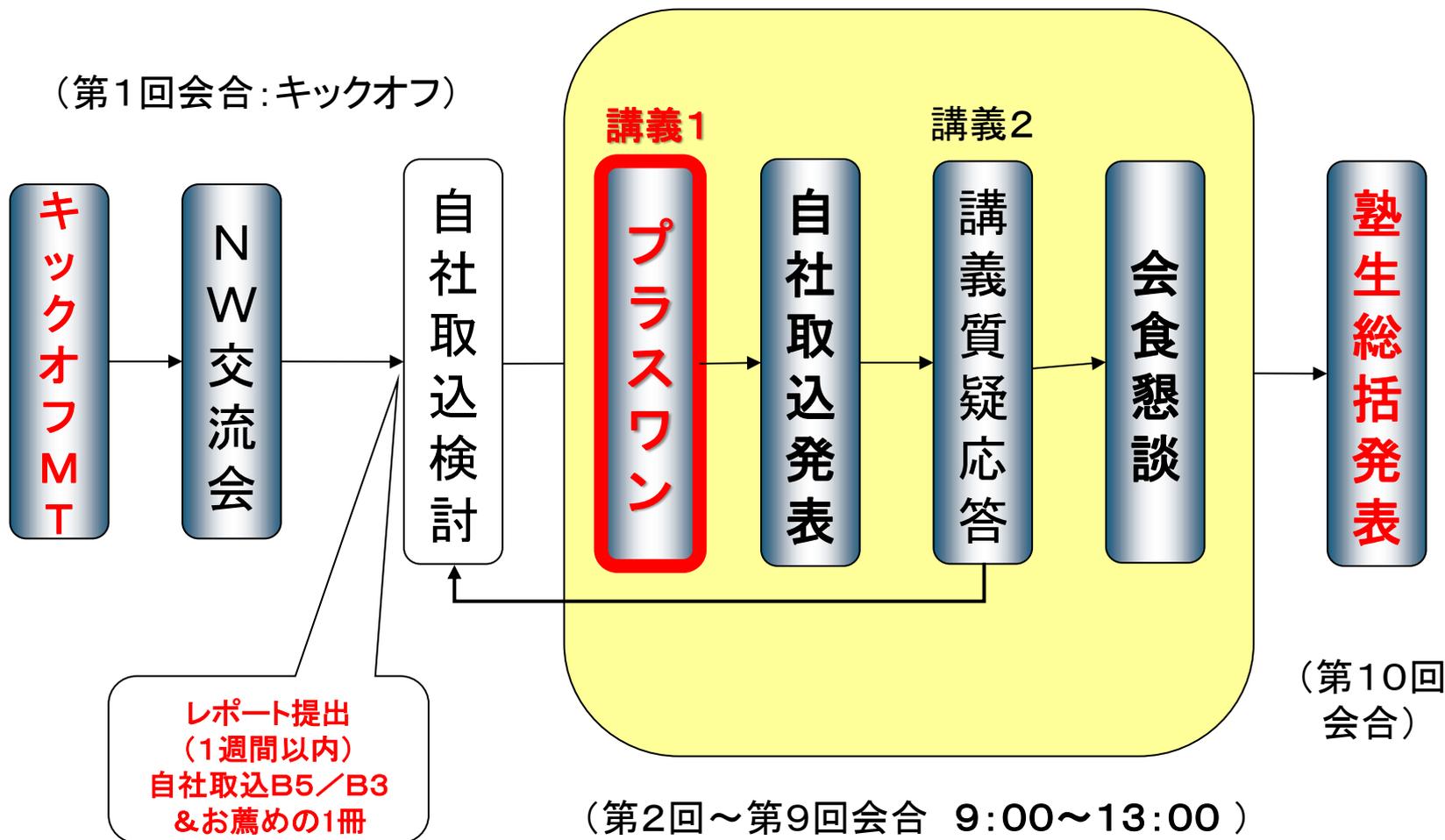
重光産業・工場見学・9月

パストラル・工場見学・10月



共育塾・定期塾のしくみ (現在進化中)

※レポートの提出先は、「塾頭&副塾頭&メンター」にお願いします！

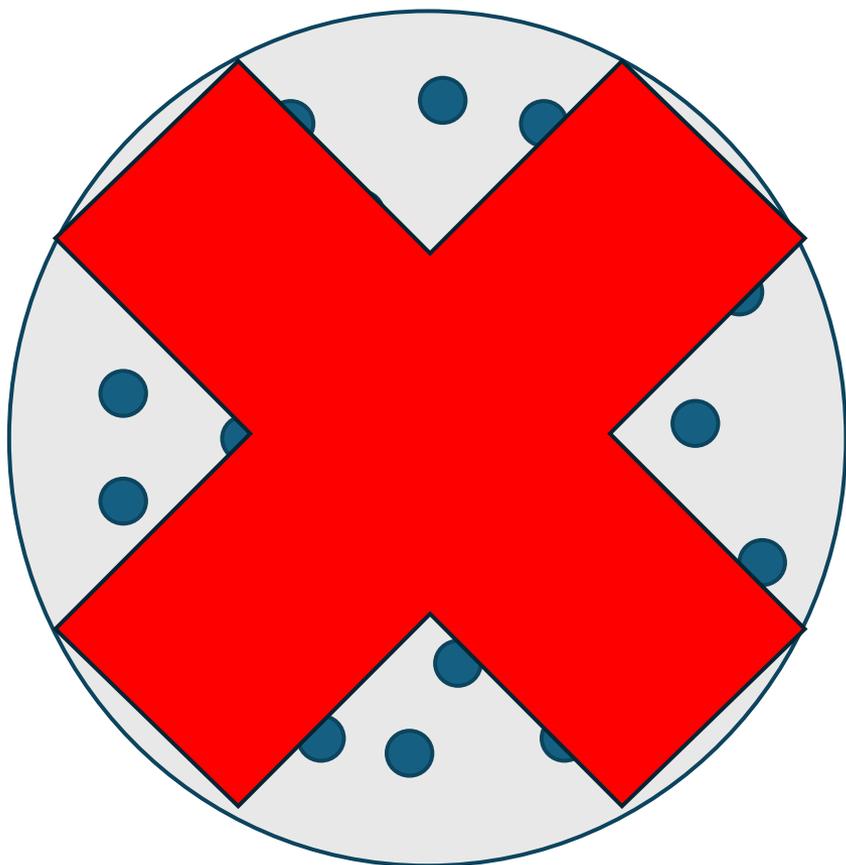


定期塾は「**総合的に考える場**」を提供

全体を把握した上で興味のある個を深掘りし、各塾生の立体像を作る

総合（個を集める）

バラバラな知識の寄せ集め



総合（個を集めて繋ぐ）

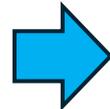
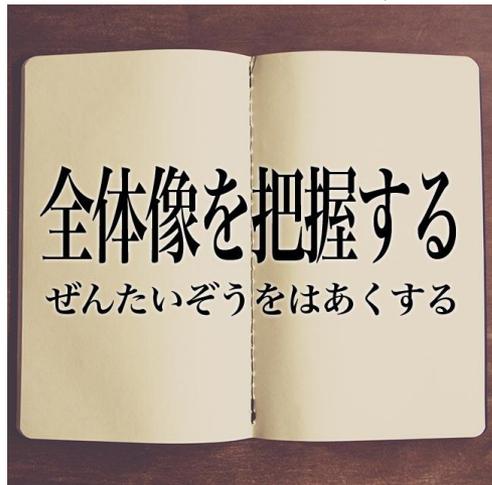
刺激・気づきを深掘りし変化成長



社会が**多様化・複雑化**していく中で**コスパ・タイパ**の風潮は高まり、**効率化**という名の下に“**利己的で近視眼的なモノの見方や言動**”が増えてきました。“**今さえよければ、自分さえよければ**”と思う人は増えており、経営者は今“**長期的視点を重視する**”ことが望まれています。

初心経営者は、先ず“**全体像を知り、興味ある部分から深掘り把握し、次々に広げて繋げていく**”ことが大切だと思います。共育塾カリキュラムは長期活用が有効です。

共育塾カリキュラム



(受講段階)
興味ある部分を抽出・深掘り
自分ナイズ！



理解を深める
⇒変化・成長



(修了後も継続活用)
気付かなかったことに
新たに気付き、全体像
を把握しつつ、深掘り



理解の範囲が広がる
⇒更なる変化・成長

入塾から修了までの蓄積ファイルは、 修了生のオリジナル・バイブルです

キック
オフ
シート

キック
オフ
ミー
ティ
ング
資料

< 共有塾活動関連情報 >

- * 自社取込みシート9回・全員分
- * ゲストとの会食懇談シート4回・全員分
- * プラスワン講義資料(自筆手書メモ付)
- * 定期塾講義資料(自筆手書メモ付)
- ・企業経営に大切な考え方①イノベーション
- ・企業経営に大切な考え方②マーケティング
- ・ビジネスゲームで経営実践演習
- ・実践的労務管理の重要ポイント
- ・経営激変時代の改善活動
- ・攻めと守り「DX×セキュリティ」
- ・中小企業もパテント活用の時代(知財)
- ・上手な資金調達と金融機関との付き合い方

支援
機関
訪問
時の
資料

修了
式
発表
資料
全員
分

塾頭
から
の
メッ
セー
ジ

同期生全員が相互研鑽で学んだ全ての情報を共有
(資料全ては、各自が残したいメモ追記のデータ)
⇒「記憶のフック」に掛かりやすい独自ファイル

定期塾における講義内容(現在進化中)

講義1 : 「プラスワン／経営哲学を学ぶ講座」



横山メンター等による、その知識と経験から体系づけられた「**経営者として持ちたい視点や、心構え**」などの経営哲学に繋がる内容を多面的に学ぶ講義。

参考【過去の講義テーマ】

- ・平田機工～平田耕也氏の起業家精神
- ・OMRON～立石一真氏のSINIC理論(未来予測理論)
- ・朱子学と陽明学～日本を明治維新に導いた学問
- ・稲盛和夫講話「経営と心」～21世紀を担うリーダーへ

講義2 : 「経営全般の基礎を学ぶ講座」(土業等外部講師が主体)

業務改善、労務、マーケティング、ITなど経営全般の基礎を、幅広く各専門家から学ぶ講義。

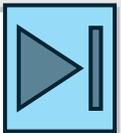
参考【過去の講義テーマ】

- ・実践的労務管理の重要ポイント～平木講師
- ・情報化社会の進展とIT活用法～上村講師
- ・中小企業もパテント活用の時代～古家講師
- ・上手な資金調達と金融機関との付き合い方～堤講師

※**反転授業導入**(zoom録画活用)
パッシブからアクティブ・ラーニング

第18期生・定期塾カリキュラム

ドラッカーのマネジメントを基軸にした経営基礎知識



開催日	講義内容	担当者
<u>4/12</u>	キックオフミーティング(趣旨&塾生紹介)	奈須・平井・メンター+塾生OB
<u>5/10</u>	企業経営に大切な考え方① イノベーション	奈須講師(塾頭)
<u>6/07</u>	企業経営に大切な考え方② マーケティング	平井講師(副塾頭)
<u>7/12</u>	「経営数字の観点」からの「経営の視点」	平井講師(副塾頭)
<u>8/09</u>	計画管理と改善の基本	千葉講師
<u>9/13</u>	情報化社会の進展とIT活用法	上村講師
<u>10/11</u>	実践的労務管理の重要ポイント	平木講師
<u>11/8</u>	中小企業もパテント活用の時代(知的財産)	古家講師
<u>12/13</u>	上手な資金調達と金融機関との付き合い方	堤講師
<u>1/10</u>	修了式総括プレゼン発表(相互研鑽の場へ)	奈須・平井・メンター+塾生OB

第18期生・横山メンターのプラスワン

経営哲学を学ぶ : 経営者として持ちたい視点や心構えなど



開催日	講義	備考
<u>4/12</u>	キックオフミーティング	(多様な視点を持とう!)
<u>5/10</u>	平田耕也氏の起業家精神	熊本から世界に発信!
<u>6/7</u>	立石一真氏のSINIC理論	未来予測理論:オムロンの経営羅針盤
<u>7/12</u>	最適組織編制理論	FFS理論/類人猿分類に学ぶ
<u>8/9</u>	リクルートのリボンモデル	元祖プラットフォーム企業!
<u>9/13</u>	アイリスオーヤマ	ユーザーインの発想とは?
<u>10/11</u>	日本精神のルーツを探る	神仏儒の融合(無宗教の嘘)
<u>11/8</u>	朱子学と陽明学から学ぶ	日本を明治維新に導いた学問
<u>12/13</u>	稲盛和夫講話「経営と心」	21世紀を担うリーダーの育成
<u>1/10</u>	塾生の総括プレゼン発表(修了式)	(メンターからのメッセージ)

パッシブからアクティブ・ラーニングへ

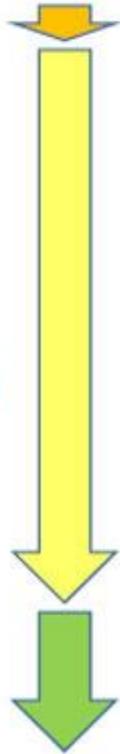
従来の授業

授業前

授業中

Passive
Input授業
記憶教育

授業後
(宿題)



知識の習得

知識の確認

知識の活用

知識の定着

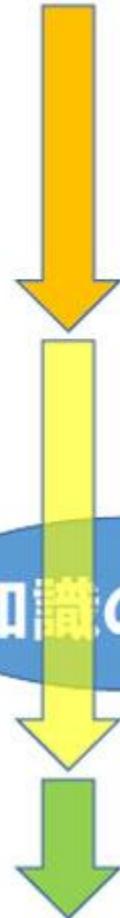
反転授業 (反転学習)

授業前 (予習 & 整理)

授業中 (質疑 & 対話)

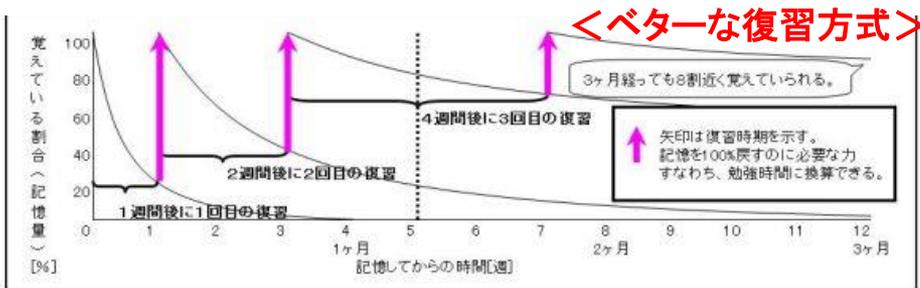
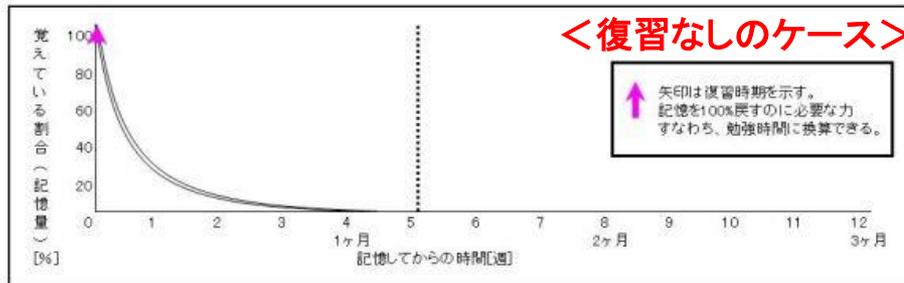
Active
Output授業
思考教育

授業後 (復習 & 定着)



知識の共有

プラスワンでの反転授業導入イメージ



次月定期塾での発表

<アウトプット主体>
自社取り込みシート発表
双方向の意見交換
刺激と気づきの醸成

*** 通常授業 : インプット授業 ⇒ 宿題**
*** 反転授業 : 予習 ⇒ アウトプット授業**

目標達成型SNS「みんなホーム」 は自走支援サービスです

共育塾17期生・mimu森田社長の開発システム

概要

みんなホームでは、目標達成したい人（メンバー）とそれをサポートする人（コーチ）のコミュニケーションを円滑にするためのツールです。



コーチ（**塾頭ほか**）：目標達成をサポートする人



メンバー（**塾生仲間**）：目標達成したい人

自走とは？

「自分で考えて」

「自分で決めて」

「自分で行動する」

共育塾で大切にしている言葉

生成AI革命が普及浸透していく時代に大切なこと！

自分の頭で考え

自分で理解を深め

自分の言葉で話す

【平井・奈須・横山】3者での合議内容

平井副塾頭と森田社長(17期生)で検討を進め、18期生から「みんホーム」を共育塾システムに導入活用を開始する。

「塾生支援とコミュニケーション活性化」を図り、少しずつ進化させていく。

将来は、共育塾NWも連動し「共育塾NW＝相互研鑽・相互扶助の場づくり」に貢献することを期待しています。

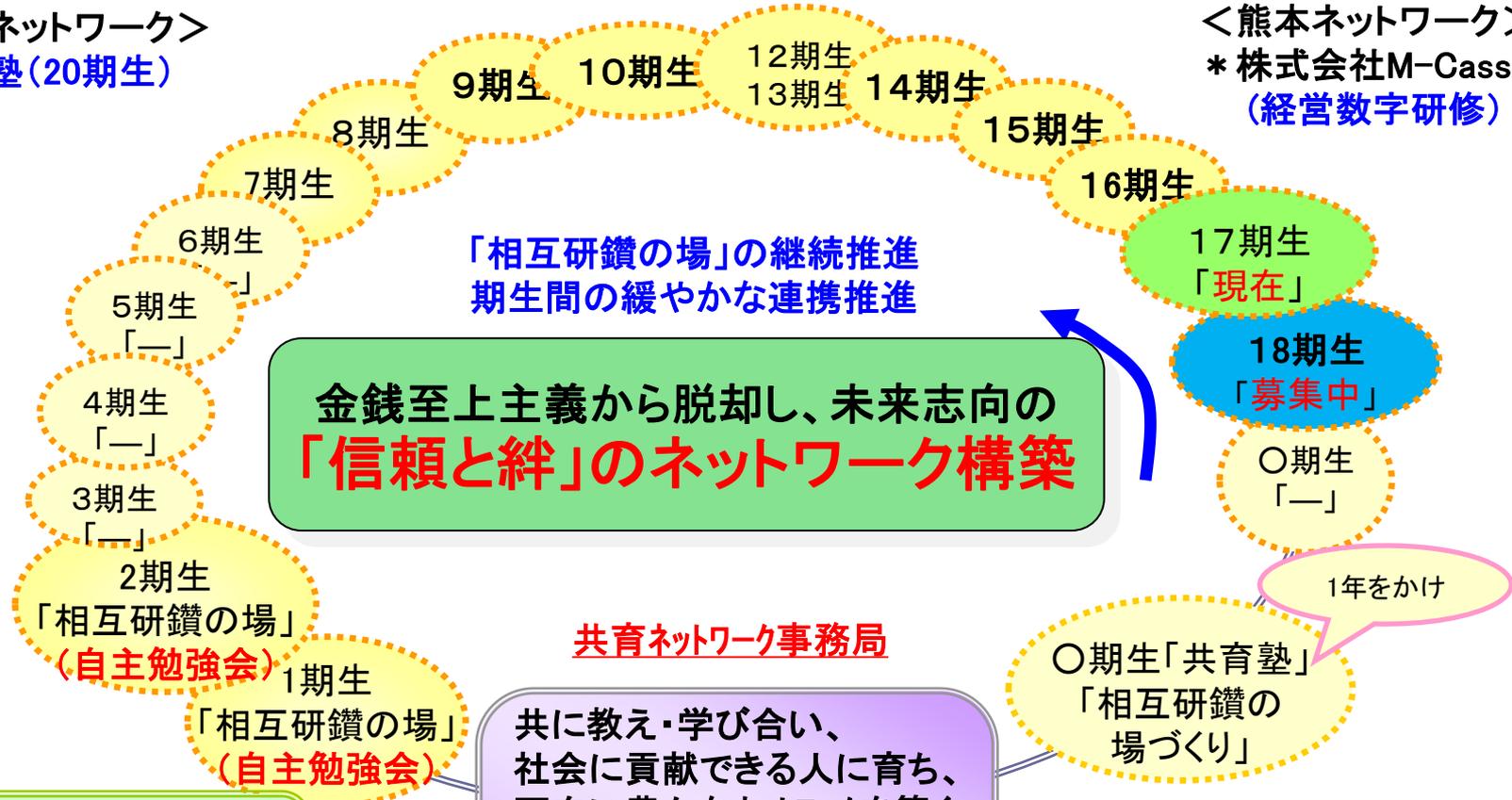


「相互研鑽の場」共育塾ネットワーク

同期生ネットワーク&総合ネットワーク

<福岡ネットワーク>
* 天神塾(20期生)

<熊本ネットワーク>
* 株式会社M-Cass
(経営数字研修)



<専門家集団>
専門的課題の解決
士業/エキスパート
・九州志士の会
・NPO地域診断士研究会
・中小企業診断士協会、

共育ネットワーク事務局

共に教え・学び合い、
社会に貢献できる人に育ち、
面白い豊かなネットワークを築く

- メーリングリストの運営
- ホームページの運営
- 交流、体験、勉強による
「相互研鑽の場づくり」

<全国メンター集団>
共育塾のゲスト
講演会、企業連携
(地場企業の育成支援)

現在、七十五社一一人
※地域未来牽引企業も3社
異業種ネットワークの集団化

農林漁業 4社 : 蘭の栽培、果実観光農園、真珠の養殖・牡蠣の養殖
 有機農産物の発掘・普及浸透

製造業 12社 : **電子部品の製造販売、環境製品の製造販売**、石材加工
 弁当製販、削り節製販、精麦製販、酒蔵、菓子製販
創作アイスの製販⇒6次産業化、制御機器・設備製販

建設業 12社 : 土木・ITシステム、**土木・キクラゲ**、住宅建設販売、電気設備
 建築設計施工・調査診断、電気工事業、土木工事業

卸販売業 5社 : 食品卸販売、自動車解体リサイクル、各種部品販売
 農産物の卸販売、漁具の販売・帆の製造販売

サービス業 25社 : 車整備、会計事務所、**健康・生活支援、高齢施設(3)**
 保険代理、**療育・保育**、飲食業、ワーキング、学習塾、出版

IT関連 11社 : **HP製作・ゲームアプリ**、医療システム支援、建設IT開発販売
 Bグッズ通販、ITプロモーション、システムソフト開発、雑誌、**着物リメイク**

医療福祉 6社 : 眼科病院・診療所、**遠隔画像診断**、介護福祉支援
 病院人材派遣・医療器具販売

共育塾10周年記念祝賀会

2017年11月10日 於ホテルキャッスル 67名参加
共育塾NW有志が記念祝賀会を開催してくれて感動！

共育塾20周年(2027年)には20期生が
入塾し、**新生共育塾システム**で相互研鑽中
です。**新生共育塾の発展を祈念します！**



みんなによる みんなの為の共育塾NWを みんなの力で創り上げよう！

19期生から、共育塾は新生“共育塾システム”で動き始め「次世代へのバトンタッチ」がキックオフします。

そして奈須塾頭・平井副塾頭体制がスタートします。

その後時期をみて奈須塾頭から平井塾頭体制にバトンタッチされて「次世代へのバトンタッチ」は仕上がりします。